会報

第105号

公益社団法人
日本海海難防止協会

目　　次

公益社団法人への移行のお知らせ・・・

公益社団法人への移行のお知らせ

当協会は、昨年７月に公益社団法人への移行認定申請を行いましたところ、平成 24 年３月 21 日付をもって内閣総理大臣より「公益社団法人に認定する」旨の認定書が交付されました。

これを受け当協会は、平成 24 年４月１日に社団法人の解散登記及び公益社団法人の設立登記を行いました。

今後は公益社団法人としてより一層の海上交通安全に寄与して参る所存ですので、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成 24 年 4 月 1 日現在

代表理事（会長）	岡　村　　繁
理事（副会長）	西　宮　公　平
理事（副会長）	針　山　健　二
理事（副会長）	宮　下　義　重
理事（専務理事）	東　郷　有　弘
理事	細　川　英　邦
理事	木　下　善十郎
理事	五十嵐　由　之
理事	池　田　謙　一
理事	菊　池　武　人
理事	佐　藤　賢　一
理事	志　田　知　隆
理事	鈴　木　　收
理事	伊　達　義　郎
理事	立　石　　晶
理事	田　中　　紳
理事	當　摩　栄　一
理事	和　田　匡　弘
理事	渡　邊　　哲
理事	松　田　信　悟
理事	坂　本　和　彦
理事	佐々木　新一郎
理事	坂　口　恒　久
監事	髙　橋　　晧
監事	鑓　水　秀　穂

Ⅰ　事　業　報　告

Ⅰ－１　委員会等開催

1-1　北陸電力㈱富山新港火力発電所ＬＮＧ船の航行安全に関する調査委員会作業部会

(1) 開 催 日 時　平成 24 年３月２日(金)　13:15～
(2) 開 催 場 所　富山市　富山国際会場　大手町フォーラム
(3) 出　席　者　別記のとおり
(4) 議　　題
　① 港内波浪の算定について
　② 計画施設の航行安全に係る検討について
　③ 数値シミュレーション結果について
　④ ビジュアル操船シミュレーション実験方案について
　⑤ 係留の安全性の検討について

別　記

(順不同・敬称略)

委員長　　大津　皓平　　国立大学法人東京海洋大学　名誉教授
委　員　　神田　修二　　伏木水先区水先人会　副会長

関係官公庁

岡島　史典	第九管区海上保安本部	交通部　企画調整官
橋野　好雄	〃	交通部　安全課　専門官
本間　一三	伏木海上保安部	交通課長
安藤　　洋	〃	交通課　安全係長
吉岡　浩二	富山県土木部	港湾課　課長補佐
米田　雄三	〃	港湾課　主任
金厚　伴行	〃	港湾課　主任

事務局

安藤　眞博	㈳日本海海難防止協会	事業部長
小関　　博	〃	主任研究員
花棚　景子	〃	調査員
伊藤　　格	㈱日本海洋科学	コンサルタントグループ　統括部長
太田　知孝	〃	コンサルタントグループ

1-2　北陸電力㈱富山新港火力発電所ＬＮＧ船の航行安全に関する調査委員会第２回委員会

(1) 開 催 日 時　平成 24 年４月 26 日(木)　13:15～

(2) 開 催 場 所　富山市　オークスカナルパークホテル富山

(3) 議　　題

① 第１回委員会質疑応答等について

② 港内波浪の算定(航行環境追加)について

③ 計画施設の航行安全に係る検討について

④ 数値操船シミュレーション結果について

⑤ ビジュアル操船シミュレータ実験方案について

⑥ 係留の安全性の検討方案について

⑦ 係留中の津波影響調査方案について

Ｉ－２ 警戒船講習会

2-1　警戒船講習会(青森地区)

(1) 開 催 日　　平成 24 年１月 15 日（日）

(2) 開催場所　　青森市　青森県労働福祉会館　会議室

(3) 受講者数

① 業務講習　75 名

② 管理講習　57 名

2-2　警戒船講習会(富山地区)

(1) 開 催 日　　平成 24 年２月 23 日（火）

(2) 開催場所　　富山県射水市　海王丸パーク　研修室

(3) 受講者数

① 業務講習　24 名

② 管理講習　18 名

Ⅱ　会　務　報　告

Ⅱ－１　業 務 日 誌 抄

（平成 24 年１月～４月まで）

月　　日	内　　容
１月 15 日（日）	警戒船講習会（青森地区）　（青森市）
２月 23 日（木）	警戒船講習会（富山地区）　（富山市）
３月　２日（金）	北陸電力㈱富山新港火力発電所ＬＮＧ船の航行安全に関する調査委員会 作業部会　（富山市）
３月 26 日（月）	船員災害防止連絡会議（平成 23 年度第４回）　（新潟市）
４月 19 日（木）	平成 23 年度会計書類等の監査　（協会事務室）
４月 26 日（木）	北陸電力㈱富山新港火力発電所ＬＮＧ船の航行安全に関する調査委員会 第２回委員会　（富山市）

Ⅱ－２　業　務　予　定

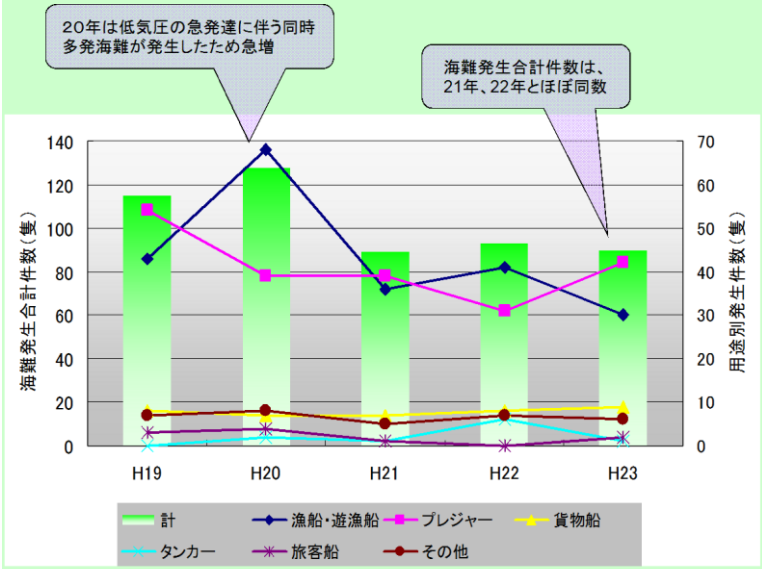
(1) 理事会　５月 10 日　新潟市
(2) 通常総会　５月 30 日　新潟市
(3) 事業推進連絡会議　５月 31 日　新潟市
(4) 日本海西部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究
（若狭湾・山陰東部地区）第１回委員会　６月下旬　舞鶴市
(5) 北陸電力㈱富山新港火力発電所ＬＮＧ船の航行安全に関する調査
操船シミュレーション　８月２日～３日　東京都
(6) 会報第 106 号発行　８月下旬

Ⅲ　寄　稿　欄

第九管区海上保安本部交通部

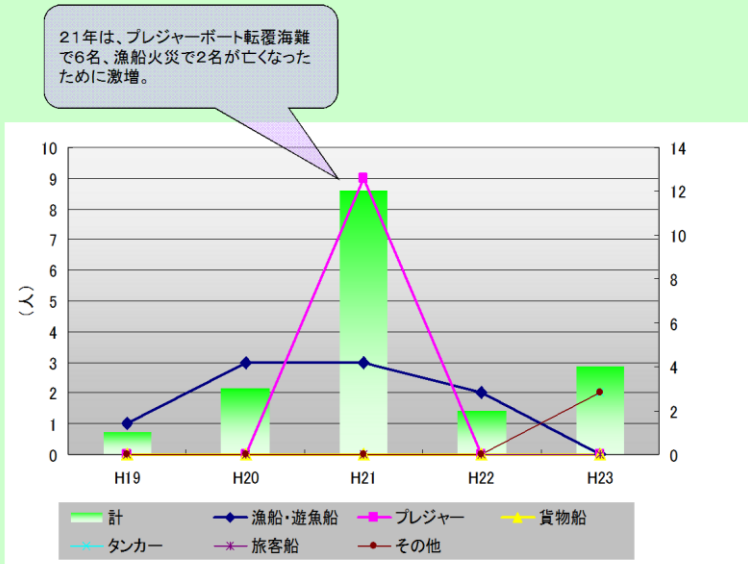
第九管区管内の海難発生状況について

①　海難の用途別（船種別）発生状況



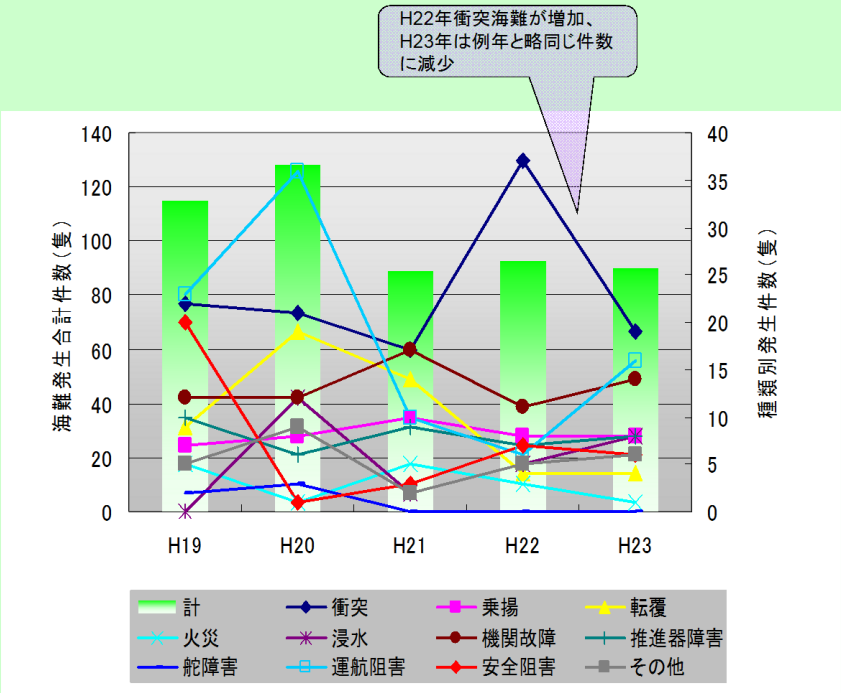
	漁船・遊漁船	プレジャー	貨物船	タンカー	旅客船	その他	計
H19	43	54	8	0	3	7	115
H20	68	39	7	2	4	8	128
H21	36	39	7	1	1	5	89
H22	41	31	8	6	0	7	93
H23	30	42	9	1	2	6	90

②　死者・行方不明者数発生状況



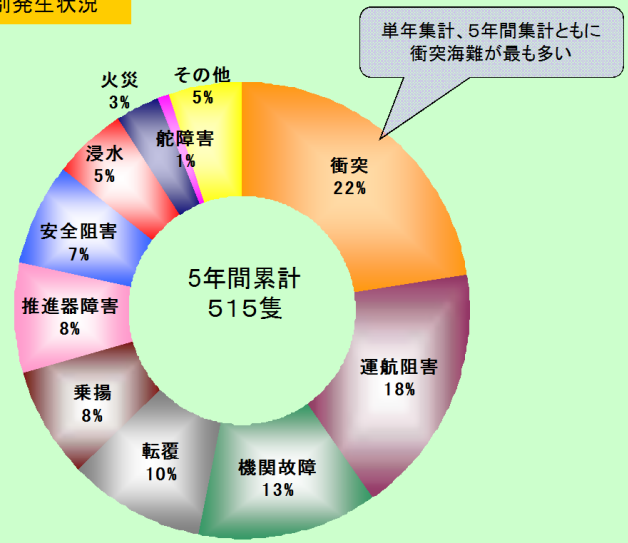
	漁船・遊魚船	プレジャー	貨物船	タンカー	旅客船	その他	計
H19	1	0	0	0	0	0	1
H20	3	0	0	0	0	0	3
H21	3	9	0	0	0	0	12
H22	2	0	0	0	0	0	2
H23	0	0	0	2	0	2	4

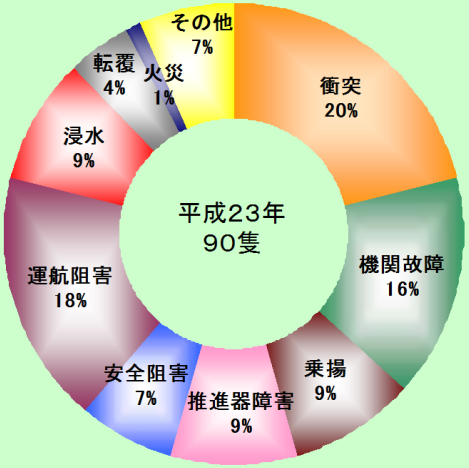
③　海難の種類別発生状況



	衝突	乗揚	転覆	火災	浸水	機関故障	推進器障害	舵障害	運航阻害	安全阻害	その他	計
H19	22	7	9	5	0	12	10	2	23	20	5	115
H20	21	8	19	1	12	12	6	3	36	1	9	128
H21	17	10	14	5	2	17	9	0	10	3	2	89
H22	37	8	4	3	5	11	7	0	6	7	5	93
H23	19	8	4	1	8	14	8	0	16	6	6	90

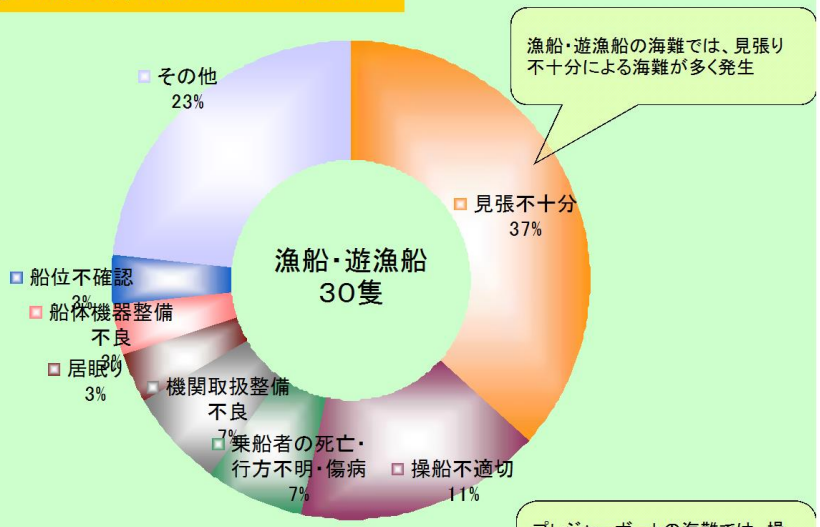
③　海難の種類別発生状況

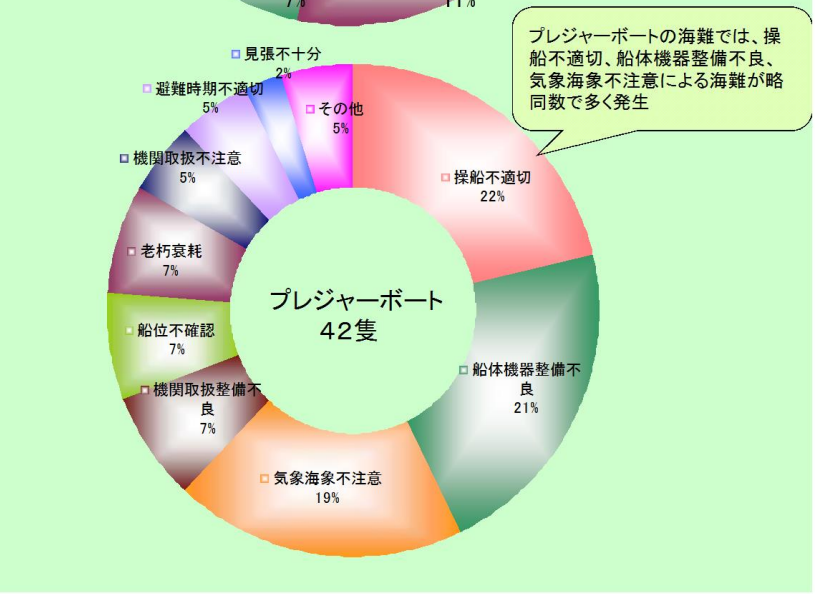




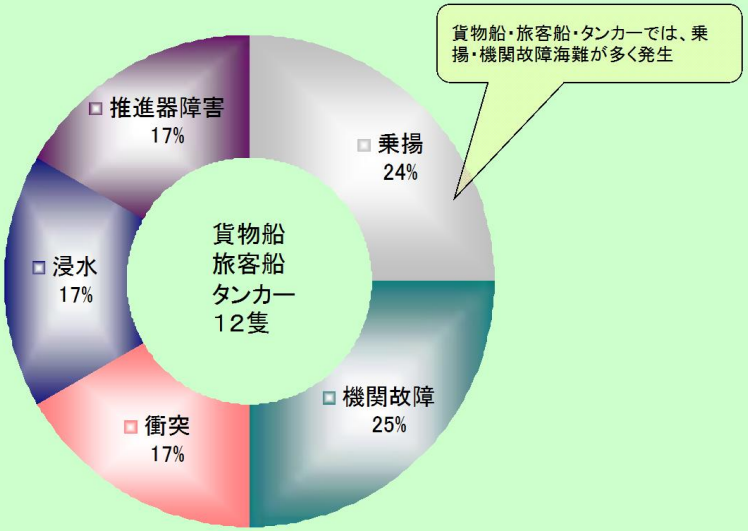
※　運航阻害：バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流
　　安全阻害：転覆に至らない船体傾斜、走錨及び荒天難航

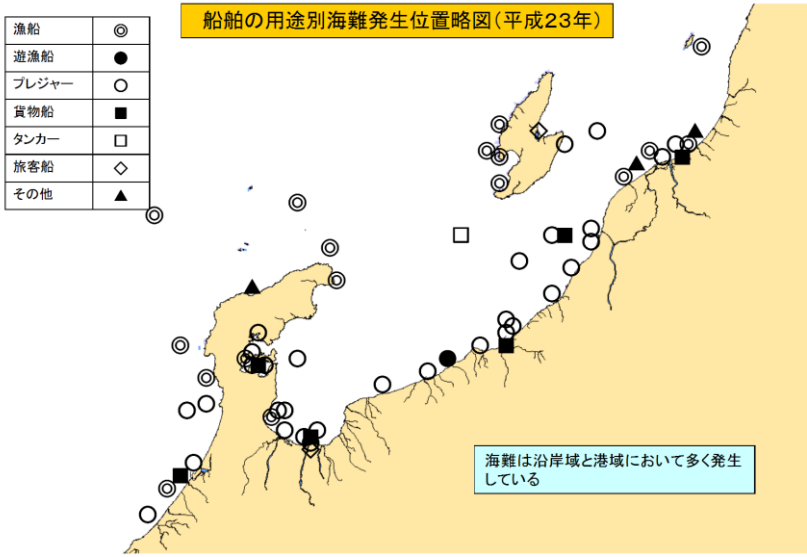
④　海難の船種別発生状況（平成23年）



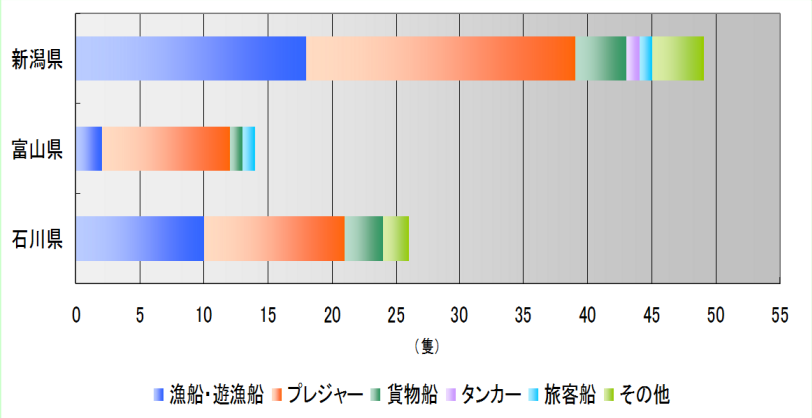


④　海難の船種別発生状況（平成23年）





⑥ 第九管区内県別海難発生状況（※）（平成23年）



	漁船・遊漁船	プレジャー	貨物船	タンカー	旅客船	その他	計
新潟県	18	21	4	1	1	4	49
富山県	2	10	1	0	1	0	14
石川県	10	11	3	0	0	2	26

（※） 各県所在の保安部署が取り扱った件数

第九管区海上保安本部における海難防止のための取組

平成23年も「海難ゼロへの願い」のスローガンを掲げ、

・全国海難防止強調運動（海上保安庁）
　7月16日～31日
・環日本海木材流出事故防止強化月間（第一、二、八、九管区）
　11月
・冬季海難防止強調運動（第九管区）
　11月1日～15日
・「走錨・荷崩れ注意報」の運用（第九管区）
　11月～3月
・年末年始安全総点検（国土交通省、海上保安庁）
　12月下旬～1月上旬

等の各種海難防止活動を実施し広く海難防止を呼びかけました。

本年も引き続き、これまで発生した海難の調査・分析結果に基づく各種海難防止活動を実施することにより広く海難防止を働きかけ、海上交通の安全確保に努めていきます。

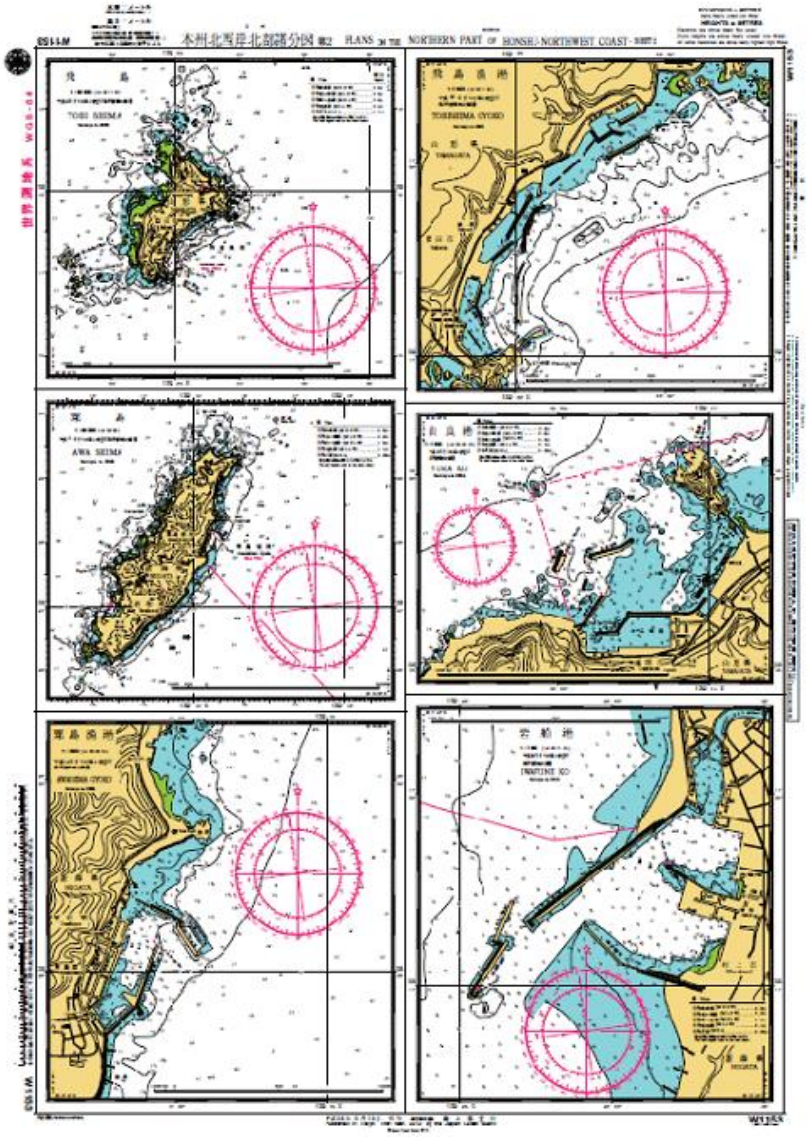
水路図誌の改版について

第九管区海上保安本部　海洋情報部
監理課長　伊藤　秀行

海上保安庁では、船舶の航海に必要な水深等を記載した海図や水路書誌を刊行しています。

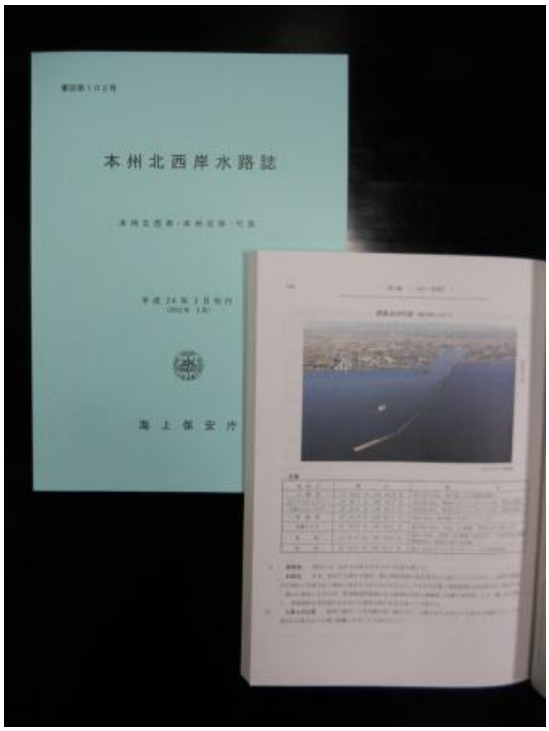
第九管区海上保安本部管内では、平成 24 年３月 23 日に W1153　本州北西岸北部諸分図 第２の海図が、平成 17 年９月以来６年６ヶ月ぶりに、書誌第 102 号　本州北西岸水路誌が、平成 19 年２月以来５年１ヶ月ぶりに改版されました。

W1153　本州北西岸北部諸分図 第２の海図は、岩船港、粟島漁港、由良港、飛島漁港、飛島、粟島を１枚の海図に６つの分図として掲載されています。



W1153 本州北西岸北部諸分図 第２

書誌第 102 号 本州北西岸水路誌は、一般船舶が安全な航海及び停泊を全うするために必要な諸情報を取りまとめた海の案内記で，海上の諸現象，航路の状況，沿岸及び港湾の地形，港湾施設，航路及び港湾に関する法規などを詳しく記述してあります。



書誌第 102 号　本州北西岸水路誌

これらの水路図誌は、お近くの水路図誌販売所にて購入できます。

第九管区海上保安本部管内の水路図誌販売所

新潟県

㈱イリサワ	新潟市中央区入船町 1-3663	(025)228-4488
㈱柏崎マリン開発	柏崎市東の輪町 8-18	(0257)21-1255
㈱イリサワ上越支店	上越市春日新田 1-19- 3	(025)543-3387

富山県

㈱富山船具店	高岡市伏木 2-1-6	(0766)44-0129
双葉商会	高岡市伏木錦町 15－9	(0766)44-0128

石川県

㈱うつのみや	金沢市広坂 1-1-30	(076)234-8111
石川船用品㈱	七尾市寿町 111- 9	(0767)53-0447

このほか全国の水路図誌販売所については、日本水路協会のホームページをご覧ください。

舞鶴の神様達（式内三宅神社）

（社）日本海海難防止協会
元舞鶴事務所長　山本勝眞

筆者の舞鶴との出会いは、昭和 41 年、海上保安庁入庁の時に始まります。島根の高等学校を卒業し、学生服で舞鶴の地を踏みましたが、当時は、将来舞鶴に永住することになろうなどとは全く考えもつかず、ましてや舞鶴市内の神社を片っ端から訪ねて歩くなどということは、想像だにしないことでありました。

ただ、この稿の最初のほうで申したかとおもいますが、そのころ、日本の神々や神社に全く興味がなかったのではなく、幼い時から石見神楽に接しておりましたので、舞鶴に限らず、神社には少なからず関心があったことは事実です。

今回の神社、「式内三宅神社」の存在は、昭和 41 年当時から認識はしておりました。と申しますのが、海上保安学校の学生にとって、外出の折にバスの車窓から必ず目に入るのが、この神社と高倉神社（のちに取り上げることになる神社）なのだからです。

三宅神社登口石段

国道 27 号線を東側（小浜市方面）から舞鶴市内に入ってくると、大門通りという商店街の直線道路になっていますが、この通りの西の端に突き当たった小山の中腹の木々の間に、「式内三宅神社」の白い看板が見受けられます。神社につながる階段の登り口にも、神社名を表した石碑が建っていますのですぐ目につきます。

三宅神社本殿

それでは、三宅神社自体の話題に移っていきます。

27 号線東門（海軍鎮守府の東門があったところで現在北吸とよばれています。）の公園脇の登口石段をのぼり、山の中腹の鳥居をくぐると拝殿があり、さらにその奥に「流れ造」瓦葺の本殿があります。舞鶴市内の多くの神社に見られる、風雨よけの覆屋に囲われた形ではなく、神殿は直接外部にさらされた形になっているようです。

神社の屋根は、普通は茅葺、桧皮葺、柿葺というのが原則ですが、瓦葺の神社は、近代に新しく建て替えが行われからでしょう。もっとも銅板で葺いたものもあり、三宅神社の拝殿の屋根は銅板葺です。これは柿葺の金属バージョンとみれば、私は違和感を感じませんが・・・。また鳥居にかけられた大しめ縄が、いやに鮮やかなオレンジ色をしており、大変きれいになわれているので、触ってみると、なんとこれが、合成樹脂製の細ひもを縒り合せて造られたもので、式内社と呼ばれる古い神社にしては、大変現代的な感じを受けさせられます。

神社鳥居としめ縄

神社は、地元の皆さんが氏神様として敬い、守り伝えていくものですし、日本の神道は偶像崇拝でもなく、八百万の神々を受け入れる寛容的な民族の宗教ですから、神社の形や建物にこだわる必要はないとは思いますが・・・・。

神社の由来書によれば、この神社は、もともと現在地から直線距離にして約500 メートル西側にある、三宅谷（現在は三宅団地となっています）に鎮座されていたものが、明治 24 年、時の政府により、舞鶴鎮守府の軍域に指定されたことから現在の地に遷宮されたとあります。

拝 殿 正

もちろんその名の通り、延長 5 年（927 年）の延喜式神名帳の旧丹後国加佐郡のうち、現舞鶴市内にある神社 11 社のうちの一つになっていますので、それ以前からある、古い由緒ある神社とはいえましょう。お祀りされている神様は「豊受姫の命」とありますので、豊穣の神様で大日霊女貴尊のひ孫さん、（神武天皇の日向時代の娘さん）にあたる方です。

伊勢の外宮をはじめ、近隣では大江町の元伊勢外宮、宮津の籠神社などにも祀られておられ、日本の古代の神々の中（特に日向系）では、重要な神様であります。

境内には、本殿に向かって左側に「吉備の大臣神（吉備眞備公）」と「稲荷神社（宇迦の御魂）」、右側に「秋葉神社（愛宕）」と「恵比寿神社（大国主の尊のご子息）」の 4 柱の境内社が鎮座されています。何度もいうようですが、秋葉神社は防火の神様、稲荷神社は豊穣（稲作）の神様、恵比寿様は商売繁盛の神様です。吉備の大臣の神については、私の知識の中にないため調べてみましたら、古事記以後の朝廷の役人さんだったようです。吉備の国（現岡山県）出身のかたで 8 世紀初頭に活躍した人のようですから、古代の神々とは少し異なる形、つまり天満宮の菅原道真公、豊国大明神の豊臣秀吉公、東照大権現の徳川家康公の類の神様ということでしょう。

門番の狛犬（唐獅子）

三宅神社も舞鶴市内では結構人気のある神様らしく、季節・季節に行われる例大祭やお正月の初詣の時には、多くの市民でにぎわっているようです。

三宅神社には、鳥居と拝殿の間に、「阿吽の狛犬」一対が神社守りというか門番の形で飾ってあります。狛犬といっても、形は唐獅子ですが、これは相当古いものらしく、背中にはコケがびっしりと生えていて、長い間この神社の門番を務めていたことがうかがわれます。

明治 24 年にこの地へ遷宮されたとありますから、120 年以上たっていることになりますね。境内に遷宮 120 年の記念植樹と新しい看板が建っていたので、最近、記念のお祭りをされたのだと思われます。

ところで、動物の門番は、唐獅子の狛犬が多いようですが、動物の門番を配置するのは、圧倒的に出雲地方の神社だそうです。一方日向地方の神社になると、人型の門番が多いのだそうです。

私自信がこの目で確認したわけではありませんので、はっきり言いきることはできないのですが、ある文献にそのようなことが書かれておりました。

何かの機会に確かめてみたいなと思っています。

なお、蛇足ながら、昔から認識していた三宅神社ですが、私は今年 3 月 4 日の日曜日に初めて参道を登ってお参りをしてきました。

Ⅳ　連　絡　事　項

☆会員名簿の変更

現在発行している会員名簿の変更です。

今年度の会員名簿（正会員、賛助会員別）は、８月下旬頃発行予定です。

○　社名の変更

頁	旧　社　名	新　社　名
17	液化ガスターミナル㈱青森製造所	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 青森ガスターミナル
18	ＥＮＥＯＳグローブ㈱秋田ガスターミナル	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 秋田ガスターミナル
25	ＥＮＥＯＳグローブ㈱新潟ガスターミナル	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 新潟ガスターミナル
31	液化ガスターミナル㈱七尾製造所	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 七尾ガスターミナル

○　指定代表者等の変更

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
17	北日本石油㈱青森支店	支店長 工　藤　正　浩	秋田営業所所長 上　村　　智
17	東西オイルターミナル㈱青森油槽所	所長 葛　西　美智雄	
17	日本通運㈱青森支店	支店長 鈴　木　達　也	青森中央事業所課長 相　馬　公　人
17	電源開発㈱大間原子力建設所	所長 浦　島　彰　人	総務グループ 渡　部　健　二
18	秋田製錬㈱飯島製錬所	代表取締役社長 下　聰　正　則	生産管理部課長 石　井　　修
20	宇部三菱セメント㈱東北支店 物流・施設グループ	東北支店常務取締役支店長 海　野　正　晴	東北支店物流・施設グループ課長 村　儀　拓　弥
24	日本通運㈱新潟支店	秋　山　洪　志	新潟海運支店海運課長 飯　田　俊　郎
25	全農サイロ㈱新潟支店	支店長 大　塚　利　典	営業課長 濵　田　博　文
25	東北電力㈱東新潟火力発電所	副所長 矢　崎　和　宏	総務課長 鈴　木　正　彦
26	電気化学工業㈱青海工場	執行役員青海工場長 奥　田　章　彦	総務部長 三　宅　憲　雄
27	明星セメント㈱糸魚川工場	常務取締役工場長 村　上　　弘	資材輸送課長 加　藤　秀　一

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
27	太平洋セメント㈱関東支店	支店長 横　山　　良	関東支店セメント営業部課長 川　澄　尚　也
29	竹中産業㈱富山港油槽所	所長 中　橋　信　弘	課長 中　田　浩　司
30	日本通運㈱富山港支店	支店長 宝　田　豊　尚	海運課代理店係係長 新　鞍　克　暢
30	北陸電力㈱富山新港火力発電所	所長 伊　藤　貴　夫	業務課 坂　　裕　子
31	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 七尾ガスターミナル	所長 久米田　敏　明	所長代理 金　嶽　栄　二
31	北陸電力㈱七尾大田火力発電所	所長 西　田　安　良	業務課副課長 熊　木　栄　治
32	金沢港北地区特別防災区域協議会	会長（全国漁業協同組合連合会 金沢油槽所所長） 新屋敷　　彰	共同防災センター所長 北　野　良　夫
32	東洋建設㈱北陸支店	執行役員北陸支店長 関　口　伸　吾	工事部長 地　田　英　樹
32	北陸電力㈱志賀原子力発電所	所長 西　野　彰　純	施設防護課 栗　山　知　之
34	北陸電力㈱福井火力発電所	所長 米　屋　敏　樹	業務課長 中　嶋　英　明
35	関西電力㈱原子力事業本部	総務グループチーフマネジャー 堀　　保　惠	総務グループマネジャー 佃　井　義　尚
39	中国電力㈱島根原子力発電所	所長 岩　崎　昭　正	総務課長 河　野　憲　嗣
40	中国電力㈱三隅発電所	発電所長 藤　川　久　人	総務課課長代理 大　櫃　和　成
40	中国電力㈱	取締役社長 苅　田　和　英	電源事業本部燃料計画担当副長 花　田　知　也

○　住所等の変更

頁	会　社・団　体　名	住　　所	電　　話
27	太平洋セメント㈱関東支店	〒370-0849 群馬県高崎市八島町５８－１ ウエスト・ワンビル５階	027-330-2111
27	公益社団法人日本海難防止協会	〒105-0001 東京都港区虎ノ門１丁目１番３号 磯村ビル６階	03-3502-2231